

校内環境づくりの取組

～清掃活動～

思いやりの心を育てる自問(じもん)清掃

津山市立久米中学校

目的: 自分の行動を見つめ直す

1. 周りの人がいかに自分に関わってくれているかに気づく。
2. 自分に出来ることは何か気づく。

人間としての成長を目指し、人間だけが生まれながらに持つ「がまん玉」「しんせつ玉」「みつけ玉」を輝かせる。

自問清掃開始前

心を落ち着けるために1分間の黙想。全員が机に伏せ、自分の心と対話してから掃除スタート。(終了まで無言)

自問清掃中

5つの心「我慢する心」「人の気持ちを汲む心」「気づきの心」「感謝の心」「正直な心」を働かせる。

周りの人の心を乱す迷惑な行為となるので、ジェスチャーやアイコンタクトもしない。喋りたくなったり、遊びたくなったりした時は、掃除の邪魔にならない場所に座って自問。目を閉じ、心を落ち着かせ、掃除ができる気持ちになってから再びとりかかる。

(がまん玉を磨く)

話をしないで、自分から気づいて人に親切にする。大きな机を一緒に運ぶ、ドアを開けるなど

(しんせつ玉を磨く)

まだ他に掃除できるところはないか、人の良いところ、自分の成長を見つける

(みつけ玉を磨く)

自問清掃は自分の心と向き合う時間です

生徒の声より

自分に何をすれば良くなるかを問いかけ、掃除以外にも自分でできるだけ行動することや、自分の心を上手に制御することなど自分づくりにつながるものだと思う。

自問清掃終了後

教室までは無言でもどる。自分の取り組みを振り返り、自問カードに記入する。



自問清掃中



美化委員会主催「自問集会」の様子。劇(「三つの玉の物語」)や自問アンケート集計結果の発表などがありました。